

親子聖書日課

NO.1679 2020.11/29-12/5 名前

[日]主の裁きは神殿から始まりました。もうバプテスマを受けたから大丈夫だと油断してはいけません。形だけの信仰生活は祝されません。心から主を信頼し、罪を悔い改め、信仰の道に励む事が求められます。祝福も神殿から始まります。

[月]主は神殿から離れていきます。偶像礼拝が行われたからです。私達も御言葉に聴従せず、祈りもせず、交わりだけを求めるなら、主は出て行かれます。教会を主の栄光で満ち溢れる所にしましょう。ケルビムとは神の栄光の象徴です。

[火]主を信じると、心は変わります。石の心(罪を認めない)が、肉の心(へりくだって悔い改める)に変わり、人を赦して、仲直りできます。それは、主の「新しい霊」が与えられ、御言葉を行うことができたからです。心を開くなら、誰にも与えられます。

[水]夢は人間の側で描くものですが、幻は主の側で描いたものを一方的に下さるのです。ですから夢と違って全て実現します。会堂建築がそうでした。幻が与えられるためには、御言葉と祈りが不可欠です。幻のある所に宣教が進展します。

[木]「破れ口に上ろうとせず」不満を言って、楽な生活を送っている教会は立ち行きません。「破れ口」は自分の体を張って奉仕し、担わなければ塞がりません。主は福音のために、破れ口に上る人を求めておられます。一緒に上りましょう。

[金]義人ノア、ダニエル、ヨブの3人が束になっても、人の罪は救われません。ただ主イエスの十字架の贖いによってのみ救われるのです。全ての人を救うことができるのは、主イエス以外にはないと、声を大にして伝えましょう。

[土]主はイスラエルをすばらしい実を結ぶ国にし、彼らによって全世界を祝福しようとされました。しかし、彼らは不信を重ね、失格者になりました。私達も御霊の実(愛・喜び・平安など)を結ぶために存在していますから、主の幹につながりましょう。



	聖書	問題	答え
日	エゼキエル 9:1-11	さあ、わたしはどこから始めようと、主は言われましたか。	
月	10:1-22	何が神殿の敷居の上から出てケルビムの上にとどまりましたか。	
火	11:1-25	主は彼らの肉から石の心を除き、何の心を与えますか。	
水	12:1-28	その日は近く、何はすべて実現しますか。	
木	13:1-23	主の日の戦いに耐えるために、城壁の何に上りませんでしたか。	
金	14:1-23	ノア、ダニエル、ヨブがいたとしても、誰の命しか救えませんでしたか。	
土	15:1-8	どの木よりもすぐれていると言われたのは、何の木ですか。	
感想と祈りの課題			